事業所名　放課後等デイサービス　どれみ

支援プログラム

令和8　年　4 月　1 日

法人（事業所）理念		個人の持っている特性を考慮し、生活（生きる）上で基盤となる「健康で安全な生活」「自分らしい生活」が送れるよう、様々な機関や職種の方々と連携を図りながら社会参加能力の向上・定着を支援していきます。		
支援方針		子どもたちが、同じ空間を共有し、みんなで考え、一緒に楽しむ時間を過ごせるよう環境づくりや活動の提供を行っていきます。 ①安心して過ごすことができる環境と充実した時間を提供します。 ②コミュニケーションや社会性の向上を目標とした活動を計画し実施します。 ③地域のイベントへの参加、社会資源の利用など社会参加の場を設けます。 ④防災の徹底と防犯対策の強化を図ります。 ⑤学校や関係機関、相談支援事業所と連携を取り合い早期対応に繋げます。		
営業時間		9 時　30 分から　18 時　30 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態の把握：来所持の体温測定、支援中の健康観察を行います。 ・安全教育：交通安全や防災訓練を通して、日常の安全意識を高めます。 ・基本的生活スキルの獲得：排泄や食事等に関する支援を行います。		
	運動・感覚	・身体機能の向上：柔軟性を高める体操やサーキット運動、公園等、楽しく遊びながら体を動かす機会を提供します。 ・感覚統合：楽器に触れたり、音を聞きながら演奏したりすることで身体と感覚を合わせていきます。		
	認知・行動	・季節の変化への興味や感性の形成：季節の野菜や草花などをじっくり観察して触って、匂いや形を自由に表現します。 ・空間や時間、数等の概念形成の習得：日付や時間、空間等の概念の形成を図り、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 ・適切な認知と行動の習得：視覚、聴覚、触覚等の感覚を充分活用し、認知機能の発達を促したり望ましい行動を促したりします。		
	言語 コミュニケーション	・言葉の獲得：具体的な事物や体験、意味の結び付け等を行い、言語の習得や発声を促します。 ・コミュニケーション手段の選択と活用：指さしやジェスチャー、絵カード、文字等を活用し、言語理解や意思の伝達ができるよう支援します。 ・コミュニケーション能力の向上：相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりすることを通して、言語受容や言葉の使い方、伝え方を支援します。		
	人間関係 社会性	・他者との関わりの形成：活動や遊びを通して、友だちとのやり取りを楽しんだり相手の気持ちを理解したりする力を育みます。 ・社会資源の活用：公共施設等の利用や体験的な活動を通して、社会でのルールやマナー、行動を確認し体験する機会を提供していきます。		
家族支援		・引継ぎでは、利用中の様子について丁寧にお伝えしていきます。 ・定期的な面談では、お子さんの成長や課題について共有していきます。 ・ご家庭の状況に応じて、利用日や利用時間の調整を行います。	移行支援	・学校や他事業所、相談支援専門員との情報共有（関係者会議等への参加）を行います。
地域支援・地域連携		・公共施設、機関の利用：公園、図書館、電車外出等 ・事業所連絡会への参加	職員の質の向上	・外部研修参加 ・内部研修の実施 ・毎月職員会議を開き、情報共有、検討を行います。
主な行事等		・季節ごとの行事：夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、お正月遊び等 ・毎月のお誕生日会		